

2006年3月30日

JEXSA タイ国際標準化体制構築支援事業報告会
「滑り軸受分野」報告レジメ

報告者：染谷常雄・山本隆司

経済産業省の産業振興支援事業の一つ「日本貿易振興機構」(JETRO)「貿易投資円滑化支援事業」(JEXSA)の一環として、下記1.の日程でタイを訪問し、各訪問先で同国における滑り軸受の標準化活動促進の重要性を説明すると同時に、同国がISO/TC123及びその分科委員会のPメンバーとなって我々と共に国際共同作業を進めることの必要性を訴え、下記2.のような成果を挙げる事が出来た。

1. 日程及び訪問先

2005年度「タイ産業界における国際標準化体制整備支援事業」「滑り軸受分野」日程表

期日 2006-1-30~2-5	午前	午後	備考
1月30日(月)	成田発	Bangkok 着	
1月31日(火)	Chulalongkorn 大学訪問	Chulalongkorn 大学訪問	
2月1日(水)	TPA 訪問 TISI 関係者と面会	TAPMA 訪問	
2月2日(木)	移動	Dyna Metal 社訪問	
2月3日(金)	移動	Siam Toyota Manufacturing 社訪問	
2月4日(土)		Bangkok 発	
2月5日(日)	成田着		

(注)

Chulalongkorn 大学：タイ国の最大で最高の学府。学生数約2万名を擁する総合大学。ほとんどすべての学部があり、Bangkok 市内中心部に広大な Campus を持つ。大学名は、日本の明治時代に相当する時期に在位した名君 Chulalongkorn 王に因んで名づけられた。2005年度円借款による研究プロジェクトの最終年度を迎えた。なお、同プロジェクトは半年間延長されるとのこと。

TPA (Technology Promotion Association (Thailand-Japan))：泰日経済技術振興協会。タイ日友好とタイ産業界の人材育成を目的として、1973年にタイの元日本留學生が中心となって設立した公益団体。主に技術者の研修を行っている。現在「泰日工業大学」を2007年開学の予定で準備中。

TISI (Thai Industrial Standards Institute)：タイ工業標準局。同国は現在国主導で標準化活動が行われているが、それを総合的に統括するタイにおける工業標準行政主務官庁。

TAPMA (Thai Auto-Parts Manufacturers Association)：泰自動車部品協会。自動車に関連する部品の製造、輸出入及び販売を統括するタイ最大の民間業界団体。

Dyna Metal 社：滑り軸受及び関連部品製造会社。現地進出のトヨタ、ホンダ、日産、いすゞ等日系自動車メーカー及び外資系自動車メーカー・フォードに自動車エンジン用滑り軸受及び自動車用プシュ(軸受の一種)等を供給。

Siam Toyota Manufacturing 社：自動車用エンジン組立、シリンダブロック、シリンダヘッド及びプロペラシャフト製造会社。現地で生産されているトヨタ社製自動車のガソリンエンジン及びディーゼルエンジン及び主要駆動系部品を供給。

2. 事業内容とその成果

平成17年度貿易投資円滑化支援事業(JEXSA)「タイ産業界における国際標準化体制整備支援事業」専門家派遣事業は、現地産業界における規格開発・国際標準化ニーズの集約、規格化、国際標

準としての提案等を行うための体制作りを行うことを事業内容としているが、同実施概要の「事業の内容」に記載されている項目毎に具体的な成果の概要を以下に記す。

(1) 国際標準化活動におけるわが国産業界(業界団体等)の取組状況や官民の連携による国際標準化活動の実例の紹介

Chulalongkorn 大学学長に面会し、タイ国の滑り軸受標準化活動推進に関する協力を要請し、同席していた機械工学科学科長に協力のための指示を出していただいた。

Chulalongkorn 大学工学部長に面会し、同席していた 2005 年度アジア太平洋地域標準化体制整備研修会に参加した同大学機械工学科助教授 Chairote Kunpanitchakit 氏の標準化活動への取り組みの状況を説明し、理解を得ることが出来た。日本自動車技術会制定の JASO 規格英語版 CD を贈呈した。

TPA の Executive Director : Dr. Bandhit Rojarayanont 氏、タイ工業標準局(TISI)の 2 名の職員、Ms. Saowalak Linlawan(アジア太平洋地域標準化体制整備研修会 2004 年度参加者)及び Ms. Saluck Glunsuwan(同 2005 年度参加者)の参加を得て講義を行った。講義終了後、TISI の 2 名の職員から、Ms. Saluck Glunsuwan が TISI における滑り軸受担当職員になったこと、またタイの産業界(特に TAPMA)から標準化活動の希望が TISI 宛に提出されれば TISI としての公式対応がとれるとの報告を受けた。日本自動車技術会制定の JASO 規格英語版 CD を贈呈した。

(2) タイにおける利害関係者(特に産業界)を包括した国際標準化活動促進体制の構築のための指導、討議及び意見交換

TPA の Executive Director and Director General : Dr. Bandhit Rojarayanont 氏と国際標準化に従事する人材養成に関して意見交換し、我が国では MOT (Management of Technology) の専門大学院の設置により対処しつつあることを説明したのに対して、TPA は泰日工業大学を 2007 年度に設置して、タイの企業において即戦力となる人材養成を予定しているとの情報を得ることが出来た。また、規格は学術的基盤に裏打ちされている必要があるため、日本では、産業界と大学が緊密に連携をとって共同作業を行っていることを説明した。

TAPMA 総会終了後に同会 President Mr. Yongkiat Kitaphanich (早稲田大学大学院修了) 氏を含む幹部と面談し、日本滑り軸受標準化協議会の活動実績に基づいて、産官学の広い範囲の共同作業が重要であることを説明した。また、TISI では、TAPMA の TISI への働きかけが必要である言明しているとの情報を伝達した。日本自動車技術会制定の JASO 規格英文版 CD を贈呈した。

Dyna Metal 社(大同メタル工業関連企業)及び Siam Toyota Manufacturing 社(トヨタ自動車工業関連企業)を訪問して講義を行うと同時に、タイ工業標準局(TISI)からの上記の情報を伝えて産官の協力要請を行い、新島社長及び鈴木社長の理解を得ることが出来た。

2005 年度研修生の一人 Mr. Nipon Korbthanachai (Dyna Metal 社)がタイ国で唯一制定されている滑り軸受規格の原案作成者の一人であること、また同氏はタイ国最大の滑り軸受メーカー Dyna Metal 社新島社長の信望も厚く、タイ国における滑り軸受標準化活動の Key Person であることを確認した。また、新島社長に同氏の国際標準化活動への参加に関する理解を要請し、同氏からこの件に関して親会社である大同メタル工業(株)と折衝を行うとの回答をいただいた。

(3) 日タイ産業界関係者による協力体制の構築等

今回のタイ訪問で 2004 年度及び 2005 年度アジア太平洋地域標準化整備研修会に参加した合計 7 名の研修生のうちの 6 名に再会することが出来、彼らがタイ国内のそれぞれの所属部署で国際標準化活動における重要な役割を果たしていることを確認した。

TAPMA, President : Mr. Yongkiat Kitaphanich を含む幹部と面談し、標準化に関して広い範囲の分野の担当者が一同に会して話し合うことが必要であるという点で認識が一致し、このことを帰国後に JETRO 関係者に伝達することを約束した。このような背景から我々は今後このような国際会議やシンポジウムの開催を検討することが必要であることを確認した。